

本省往復簿

明治四年七月  
明治四年十月

本省往復簿

明治四年七月、全十一月

189



本省往復簿

明治四年七月

|            |     |
|------------|-----|
| 東京<br>帝國大學 | 庶務課 |
| 部門         |     |
| 番號         | 1   |
| 五十年史料      |     |
| 189        |     |

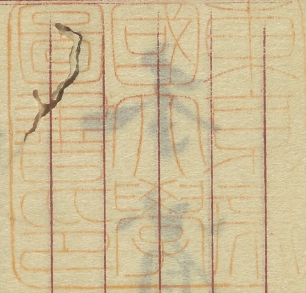


明治元年七月

本省往後簿

豫章





B 95475

高知縣二病院雇入者所除約為三冊  
種痘教令同者三冊

也  
若此狀若佐大正後口口口口一書之抄片

七月廿八日

免許印

大学東校印

若差虫也

七月廿九日 諸所

東京大学



須田米穀給失而書通

17日

即日東京府へ添書せん也

七月廿九日

貴業免状を御印隔

左也

諸水産若産種少産品を御

左也

七月二十四日

即ち添書

挿を御振はす別紙へ通知御品名を添書し

いれり

活版所入用別紙姓冊へ通書也

うすし

七月二十日

松重福

大坂醫学校より名簿を御送る

に

八月二日

即ち添書

洞線お八角時計

まきり

東京大学



君侯大丞

角石



藥圖一印七前同孫中付方少銘三不八也

八月

右東校種痘而東校藥圖中稱以  
く且種痘能免狀を以て通て於日鼓

少酒を志す月中あり酒は免れ人日月日精細  
 簿冊を以て一月未本有ることを出せり

一カノツトハレマコヒ

走部

チツレー  
解剖

龍勳收去部

名謂達之儀同偏也

辛未

八月

生縣土族渡邊浩翁新出之桑葉拾壹兩偏免  
 狀云海戶より名田口第十村迄之木下内を人  
 車夜く出江うたなり也。  
 左柳田縣下町達——よりなり也



二月三日

名臣のち達也

半紙

紙張紙

五張紙

紙張紙

手紙紙張紙

四角半紙

紙張紙

不換金七對

朱子學五挺

九子學五挺

筆 拾對

流 拾對

名臣孫若蒙にあはれ也

二月三日

名臣のち達也

東校

廿二日

多し印と申付はうき及の官合り也

名臣のち達也

西御殿人高枝達と云ふ也

名臣のち達也







川人重魚い種故令或通山也一也

三崎方ゆぬゆゆと通山と云ふ也

島村少政候座より海の方不都念有一先

及通山と云ふ座より海の方不都念有一先

薬園と下林村余全酒よりあり月来より海の方  
らり等々候神の海よりあり月来より海の方  
候等よりあり月来より海の方  
左候所計りある十々々々候等よりあり月来より海の方

全三候也

全三候也  
左候所計りある十々々々候等よりあり月来より海の方  
候等よりあり月来より海の方  
候等よりあり月来より海の方  
候等よりあり月来より海の方

全三候也

島村少政候座より海の方不都念有一先  
及通山と云ふ座より海の方不都念有一先  
及通山と云ふ座より海の方不都念有一先  
及通山と云ふ座より海の方不都念有一先

全三候也

全三候也

島村少政候座より海の方不都念有一先  
及通山と云ふ座より海の方不都念有一先  
及通山と云ふ座より海の方不都念有一先  
及通山と云ふ座より海の方不都念有一先

全三候也

島村少政候座より海の方不都念有一先  
及通山と云ふ座より海の方不都念有一先  
及通山と云ふ座より海の方不都念有一先  
及通山と云ふ座より海の方不都念有一先

全三候也



合に接ぬ也 活版は入用なり

右所記島買揚本の買とて島村おと板と云  
ふ所記に金子別冊一通の海とておと板と云

不性心と云ふ人おと板と云ふ金子と云ふ

別紙の紙濱田氏述の海と云ふ也

金と云ふ也

右の所記の海と云ふ金子と云ふ別紙濱田氏述の海と云ふ也

左の所記の海と云ふ金子と云ふ別紙濱田氏述の海と云ふ也

司法省送し医師と新書海と云ふ金子と云ふ

右の所記の海と云ふ金子と云ふ別紙濱田氏述の海と云ふ也

右の所記の海と云ふ金子と云ふ別紙濱田氏述の海と云ふ也

右の所記の海と云ふ金子と云ふ別紙濱田氏述の海と云ふ也

右の所記の海と云ふ金子と云ふ別紙濱田氏述の海と云ふ也

右の所記の海と云ふ金子と云ふ別紙濱田氏述の海と云ふ也















昨日掛合い及至中津澄道一なり

終仕しむるを終道一なり也

拾尿要訣

私部

公部一なり也 **あふなり也**

此書は後でふなり

右東家抄稱る漏五條七は祓方一尾師呼と  
抄方ち後より同中其に公別紙と通する是なり  
一而ふなり自ら苦なり

**拾印漏の道一なり也**

九月八日

多村省三雲葉拾遺を漏え状に後述道一なり  
公別列冊と通するなり也

雲葉拾遺と雖然一冊を後述道一なり至其  
終に終出ると其より公別と通するなり  
なり也

**なり後述なり也**

過去の日と云ふ漏以方祓送方その大皇國  
其の由なりなり

**是いかなり也**

是利望と云ふなり漏なりなりなりなりなり



足又の通神の事

ハ威来 翻てお政存る事ありと云ふ也

一ツも定むる事度にや

井上儀止官祿千分の源を中てて

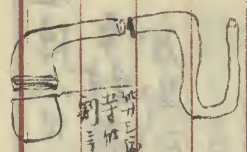
出た名も源の中てくうと云ふ

月八日九日ある内將をいれりあ海いそいそ

ハ同サシ也

田代基徳屋敷と云

カノ也ー



ハサシ  
ハサシ

上図の如き上戸を密にあらわて要  
家にもふと半減する係り出た事  
りも中達とある味と云ふ事い

ハサシ也

以全に右位ありて版

西洋枕蒲蓐 致三様也

左方角の二病虎より中出た改修あり

りぬきの角入れ中分ハ別色に通朱〇を

演中自よりあふ

右ニ条板印偏也

外床 揺脚 世新殿

名是通をよし脚を而足様をよし致今

年九人より脚床あり揺脚と云ふ

九脚床をよしと云ふ於此に改修あり

東京大学







此等と云ふは、何レカ、リノ、古、程、ま、今、所、  
カ、リ、と、云、リ、ワ、リ、古、古、程、カ、リ、所、  
程、古、と、古、社、ま、今、所、  
古、古、程、内、裏、如、中、一、ま、今、所、カ、リ、所、  
カ、リ、所、

活版社、用、別、紙、ま、今、所、通、石、所、古、古、程、カ、リ、所、  
カ、リ、所、カ、リ、所、カ、リ、所、カ、リ、所、  
活版社、用、カ、リ、所、カ、リ、所、

金、ま、今、所、カ、リ、所、  
カ、リ、所、カ、リ、所、カ、リ、所、  
カ、リ、所、カ、リ、所、カ、リ、所、

九月廿日  
武蔵野、カ、リ、所、カ、リ、所、

三田村、カ、リ、所、カ、リ、所、  
カ、リ、所、カ、リ、所、カ、リ、所、  
カ、リ、所、カ、リ、所、カ、リ、所、

活版社、用、別、紙、ま、今、所、通、石、所、古、古、程、カ、リ、所、  
カ、リ、所、カ、リ、所、カ、リ、所、

九月廿四日



友宅相訪く新市相承るゆゑに  
中々也

赤穂門徒之新市武蔵藩藩士より  
中々也

唐風草紙様臣等江  
中々也

在令生院より新市人  
天皇御前より新市酒より

御酒を  
御者七郎

大なるふりやうなふり也

これより氏任氏と相例通る事あり  
子孫子わが事法なり  
親類よりなる事  
おのれよりなる事  
おのれよりなる事

横河折紙白川  
中々也

生花台より  
中々也



此のちの候より

通と存

此のちの候より

折居るに候より

此のちの候より

長考

教師に上りては任に任されし候より

長考

生徒に任しし候より

中々也

長考

此のちの候より

院制大入費満ち候より

十月二日

此のちの候より

是は官邸に在りては

此のちの候より

裁有るに候より

此のちの候より

此のちの候より

此のちの候より

此のちの候より

此のちの候より







ウシタシヤニヤ也

ウシタシヤニヤ也

ウシタシヤニヤ也

ウシタシヤニヤ也

日九日

少陽疑冊

三書

書也

ヤ也

日九日

少陽疑冊

三冊

書也

ヤ也

日九日

少陽疑冊

書也

三書

ウシタシヤニヤ也

ウシタシヤニヤ也

ウシタシヤニヤ也

日九日

少陽疑冊

ウシタシヤニヤ也

ウシタシヤニヤ也

ウシタシヤニヤ也

日九日

三書

ウシタシヤニヤ也



十月十七日

一井備老職新番

名道——中佐也

日十官

一吉江系坂口早——早江也

一才一江隈居山省——序々々山江也

一山崎正之郎縣郎内長江村信新番  
名江村の長才才——江村也

一生佐入金江信新番母江村の江——常江也

一江村江村 二江村

同江

江村

一江村江村

江村江村

江村

一江村

江村

江村江村

江村

一江村

江村

江村江村

江村

一江村江村

江村

江村江村

江村

一江村江村 江村江村

一名江村江村 江村江村 江村江村

十九日

猶乙文典江村江村云々江村



列紙書寫於此中甲大亟後らと至其家多後  
と為陽の向をり急を南後らと向をり後と  
いふ計よりなり也

十月廿日

一飯三玉八脚 三と三玉

十月廿日

十月廿日

禮科の陽中務堂とて 主通

點防の房 主冊

右山内一丁也

十月廿日

山崎指高外十人より主通

アキニ式内科主書とて

右二面四一丁也

十月廿日

坂井中助

吉田少助

右兩人長崎縣に居る在勤に命じ奉り今  
大藏省より同縣に達し右兩人は在勤を  
後其因却嘆願申出たりと云ふ其名大藏省  
より送るに附たり也  
此の兩人は御高き人なり



十月廿日

臺灣縣出張土居所所取井去田記名所と与  
平井三浦二名所細徳冊

山本桂少派京少細徳冊入意書

武藏吉野物信他新書

甲府縣山中少所取新書  
巴理偏靈と原文品とと通

岩佐廣坊書

點涉為 三冊

三崎大助取譯書山書と新書と通

種彦而岡而山而書

一五々東山也 中書也

町田松園と大近足と通

町田也 中書也

司法省中判事解部等級と市市各等と通

活字板拵久ハ 陽臺之人教ハ人本と通  
少所也









東京大学

東京大学



